

記者発表資料

平成23年3月13日

九州地方整備局
延岡河川国道事務所**東北地方太平洋沖地震の支援のため排水ポンプ車を出動
～本日、延岡河川国道事務所保有の2台が福島県へ出発～**

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災し、津波により冠水している箇所の排水活動を支援するため、延岡河川国道事務所が保有する排水ポンプ車（1台当り排水能力：毎分30m³）2台を13日午前10時30分、福島県へ向け出動させました。

今回は、地震の被害が甚大で、派遣先でのポンプ運転要員の確保などが困難な状況にあることから、車両の運搬だけでなく、現地でのポンプ運転など一連の支援活動を担ってもらう予定で、延岡河川国道事務所が災害時等応急対策業務に関する基本協定を締結している清本鐵工（株）と矢野建設（株）に出動を要請しました。

派遣先は、断水や停電など厳しい環境下ではありますが、支援活動により1日も早い復旧ができるよう奮闘を願っています。

【活動場所】

- ・福島県郡山市を拠点に活動予定（現時点）

【別紙】に排水ポンプ車の概要を添付します。

【問い合わせ先】

国土交通省 延岡河川国道事務所 技術副所長 川野 晃
工務第1課長 戸田 博康

〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2889番地

電話：0982-31-1155（代） FAX：0982-33-6907

<http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

【別紙】

排水ポンプ車 (30m³/min級・水中ポンプ)

ポンプの排水能力は30m³/分。内水被害の復旧活動に大きな威力を発揮します。



■25mプール(約400m³)を15分でカラッポに！
(4台の水中ポンプ排水能力は1分間に約30m³)